

国家戦略特区等によるエリアマネジメントの新たな展開 ～博多まちづくり推進協議会の取り組み～

監修：博多まちづくり推進協議会
事務局長 中嶋 敬介

1. 博多まちづくり推進協議会について

博多まちづくり推進協議会設立の経緯を少しご紹介します。博多エリアでは博多駅ビルの建替え、九州新幹線の全線開業というきっかけでまちが大きく変化する機会に中心市街地にエリアマネジメントを行う組織が必要だろうという機運が高まり、福岡市もそれを支援する形で 2007 年に協議会の設立準備会が発足し、博多まちづくり推進協議会（以下、当協議会）が立ち上がったのが 2008 年 4 月です。設立の際には元九州大学（現：東京大学）の出口先生にお世話になりました。当協議会でまず取り組んだのははかた駅前通りの景観形成地区への指定です。九州新幹線開業で玄関口となる博多エリアと、福岡市の中心市街地である天神エリアを結ぶのがこのはかた駅前通りです。ここはオフィス街ゆえに土日や夜には人がいない、寂しい通りでした。それで危機感を持ちまして景観形成をきちっとやっということで沿道の地権者を集めて協議し、その結果この通りが景観形成地区に指定され、後述します「はかた駅前通りプロジェクト」の基礎になりました。

会員構成ですが、正会員：70 名、一般会員：78 名、特別会員：10 名、賛助会員：9 名で合計 167 名となっております。正会員は土地または建物などの所有者、管理者、賃貸者、並びに自治協議会でまちづくり活動を積極的に推進するものとしており、年会費は 10 万円ですが、別途事業協賛金等もご負担いただいています。一般会員は賃借者及び団体で、年会費は 3 万円です。特別会員は学識経験者、地方公共団体、国、警察に入っています。組織体制については総会は年 1 回、理事会は 4 半期に 1 回開催し必要な事項を決めています。3 つの部会（開発部会、交通部会、事業部会）と 3 つのプロジェクト（はかた駅前通り PJ、はかた学び PJ、どんたく PJ）がありまして、その長が集まる部会長会議を月 1 回開催して連携を図っています。各会員に対して年度の初めに部会の活動を紹介し、どの部会に入りたいか希望を聞いています。

当協議会の活動エリアは博多駅を中心とした南北 1km、東西 1.5km の範囲です。当協議会の活動の指針として、博多のまちのあるべき姿や通りの形成の仕方を会員の皆さんがワークショップ形式で議論して、「まちづくりガイドライン 2014」を取りまとめました。ガイドラインにもとづいて協議会がしなければならないことを「アクションプラン 2014-16」にまとめております。アクションプランの基本方針である「歩いて楽しいまちづくり」、「美しく安心なまちづくり」を目指して我々は活動しています。具体的なアクションについては、次ページの表に示しております。なお、地下鉄七隈線の延伸は 2020 年度に開業予定です。



当協議会の活動エリア

基本方針	アクション
歩いて楽しいまちづくり	I 地下鉄七隈線延伸に向けて、歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
	II 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
	III 歩行者中心で、公共交通・自転車・自動車とのバランスの取れた、理想的な交通体系の共有
	IV 平日や休日、時間を問わず、ライフスタイルに応じて楽しめるまちづくり
美しく安心なまちづくり	V まちの防災機能の強化
	VI 美しく、環境に配慮したまちづくり
	VII 全ての人にとって、安全・安心なまちづくり

当協議会は任意団体で、収入のほとんどが会員からの会費並びに事業協賛金、特別事業協賛金です。その他に福岡市の負担金と自主財源(バナー広告、自販機等)があります。歩道の上のバナー(半分は行政枠)については、福岡市道路下水道局管理部路政課より博多エリアについては当協議会が管理することを認めていただいています。収受した広告料の一部を市に納めています。

2. 歩いて楽しいまちづくり

はかた駅前“どんたく”ストリート

この事業は当協議会主催の特別協賛事業で、会員には特別協賛金をいただく他、会員以外でも沿道の方々から協賛金をいただいて開催しています。2011年の九州新幹線開通を記念して始めました。博多駅地区のにぎわい創出と、天神地区への回遊性向上および福岡都心部全体の活性化を目的に、はかた駅前通りの約150mをステージとする「はかた駅前“どんたく”ストリート」を、博多どんたく港まつり(明治通りが主会場)にあわせて開催しています。「パレード型」だけでなく「ステージ型演技」も可能であることが好評を博し、30団体・約1,900名が参加し、沿道の観客数は2万人弱と多くの来街者でにぎわいました。



はかた駅前“どんたく”ストリート

冬のファンタジー・はかた

この事業も当協議会主催の特別協賛事業です。博多駅の建替えに併せて博多口駅前に大きな広場が整備されました。「冬のファンタジー・はかた」はこの駅前広場を起点として、博多駅周辺地区の回遊性向上を目的に、はかた駅前通り、大博通り、住吉通り、筑紫口中央通りの街路樹に約40万球のLEDを使用したイルミネーションを施しています。博多駅前広場を中心に行われる点灯式に合わせて、博多エリアのイルミネーションを一斉点灯させるなど、エリア内での連携を図りイベントの盛り上がりにつなげています。



冬のファンタジー・はかた

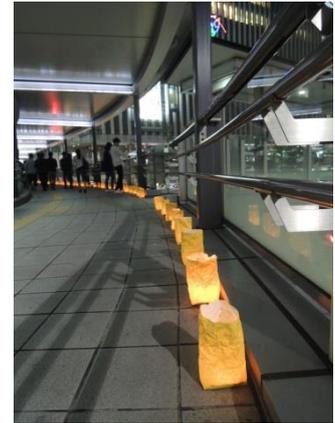
はかたんウォーク

「はかたんウォーク」は秋に博多エリアの回遊性向上と新たな賑わい創出のための取り組みの総称です。「博多朝カフェ&夜バル」は、博多の朝と夜のにぎわいづくりを目的に開催しています。2015年度は博多口駅前広場で行いましたが、2016年度は駅からにぎわいを広げようというねらいで藤田公園で開催しました。公園での開催はゆったりとくつろげる感じで、飲食が進んでいたようでした。



博多朝カフェ&夜バル

10月の土曜日に住民の方が手づくりで行っている祭りである「博多灯明ウォッチング」と連携して「灯りの道しるべ」という取り組みを当協議会発足直後から行っています。博多駅2階デッキから承天寺通りを経て博多千年門まで、およそ800個の灯明を並べ、博多駅から灯明の灯りをたどれば灯明ウォッチングの主な会場



灯りの道しるべ

である寺社エリアへ行けるということで回遊を促しています。

まちのにぎわいを広げる活動～「はかた大学」と「ハカタリノベーションカフェ」

「はかた大学」は学びを通じて博多のまちの新たなコミュニティが生まれることを目指して2014年度から開校しています。博多で働いてよかったと思っただけにとともに、もっと博多を知ってもらいたいという思いで取り組んでおります。学生登録していただいている方は現在約770名ですが、半分程度が会社員です。講座を企画するごとに学生登録していただいている方々にメールでご案内して好きな講座に参加していただいています。講座は有料のものあれば無料のものもあります。



はかた大学



ハカタリノベーションカフェ

また、街の賑わいを広げるもう一つの活動として、2015年度に「ハカタリノベーションカフェ」を実施しました。ビルの空室を1か月お借りして「はかた大学」の学生によるDIY講座や、エリア内の専門学校での授業の一環として取り組んで頂く等多くの方々の参画を通じてカフェ空間を作り上げました。またその場所で講演会やセミナーを集中的に行ったり、当協議会の活動内容をデジタルサイネージで情報発信したりするなど、“まちづくりの拠点”としての機能も併せ持つカフェとなりました。

3. 美しく安心なまちづくり

博多星空映画館 in 明治公園

博多口のそばに明治公園があります。ここはかつてホームレスがたむろする公園でしたが、東住吉の自治協議会を中心に周りの方々とワークショップを行い公園のあるべき姿を描いて福岡市に提案したところ、現在地下に駐輪場を整備するとともに芝生でくつろげるような公園にリニューアルされています。現在、地下鉄七隈線延伸工事で高い建屋が建っています。これをスクリーンに見立てて、日没の早い10月に映画を上映しました。2016年度は「ミニオンズ」と「最強の二人」の2本立てで400人以上の方にご観覧いただきました。特に映画館に行きづらい小さなお子様連れのファミリーに喜んで



博多星空映画館 in 明治公園

いただきました。なお地元への還元ということで観覧は無料としました。また飲食ブースを設けて賑わいの創出に務めました。周辺はオフィスビル、専門学校などが多く、騒音の問題はありませんでした。非常にきれいに見えますので映画の配給会社のプロモーションの話がありましたら是非お声掛けください。

4. 国家戦略道路占用事業～はかた駅前通りでの取り組み

国家戦略特区の枠組みで取り組んでいる事業についてご紹介します。2014年に福岡市が国家戦略特区の認定を国から受けようということで、道路占用事業が可能なエリアを探されていましたので、当協議会がはかた駅前通りを提案したというのがきっかけです。「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」では MICE に重点が置かれていましたので、この一環でにぎわいづくりのための道路占用事業を想定されていました。博多駅からキャナルシティ、ひいては天神につながるはかた駅前通りで MICE に参加される方々へのおもてなし空間の形成とあらたな都心のにぎわいづくりのためにこの制度を活用して当協議会が取り組んでいるものです。

最初の国家戦略道路占用事業として、2014年11月に期間限定で、はかた駅前通り「スマイルプロジェクト」を開催しました。この通りにあるカフェの前など歩道上の少し広い場所があるところにベンチとテーブルを置いて休憩スペースをつくりました。またそこに座っていただきやすいようにオブジェを置きました。そのためにまず子供たちに集まっていただいて看板にするためのイラストを描いてもらうワークショップをアーティストのオーギカナエさんと行って、そのイラストのオブジェを実際につくって道路上に立てました。そうすることでアートを楽しんでいただくスポットとなりました。



スマイルプロジェクト

2015年度は活動の総称を「ハカタストリートマーケット」としてはかた駅前通りで「ハカタストリートコンテナ」、「はかた駅前マルシェ」の2つの取り組みを行いました。「ハカタストリートコンテナ」のほうは道路上に1か月弱、デザイン性の高いコンテナを設置してコーヒーやドーナツを販売したものです。はかた駅前マルシェは10日間、パラソルとテーブルを出して物販を実施しました。



ハカタストリートコンテナ



はかた駅前マルシェ

「ハカタストリートマーケット」を開催した場所が現在のはかた駅前通り再整備工事により使用できませんので、2016年度は同じのはかた駅前通りのもう少し西にあります駐車場のある場所で、「HAKATA STREET BAR(ハカタストリートバル)」と銘打って2017年3月10日から20日にかけて行いました。昨年の秋に行う予定でしたが、道路の陥没事故の影響で延期して開催しました。今回は歩道と民有地とのコラボレーションということで、歩道にカウンターバーを設置するとともに、駐車場にくつろげる空間をつくりました。



HAKATA STREET BAR

歩道を占有するにあたっては、警備員や係員を配置して安全を確保しています。出店者は地元の店舗で、いただいた出店料から道路占用料等必要な経費の一部を賄っています。

5. はかた駅前通りのこれから

はかた駅前通りに景観形成条例ができた後、グランドフロアに各種の店舗が入居するようになってまちが活きてきました。また、インバウンドの増加に伴って博多駅からキャナルシティまで歩く人がどんどん増えてきました。はかた駅前通りのこれからを考えるために、九州大学の坂井先生を座長にお招きしてワークショップを行いました。その結果歩道空間が狭いので少しでも広げたいということで、5車線の車道を3車線に減らし生み出された空間の半分を歩道拡幅



完成イメージ

に、残り半分を自転車専用レーンに充てるという案をまとめ、2014年10月に福岡市の高島市長に要望書を提出しました。それをもとに福岡市と警察が検討を始めまして実施可能性調査を経て、2016年7月から本格着工に至りました。

6. 展望とメッセージ

2020年度の地下鉄七隈線の延伸開業とはかた駅前通りの整備に合わせた取り組みや、筑紫口の駅前広場や周辺の公園の整備などを考えながら「アクションプラン(2017-2019)」を現在策定中です。一方、福岡市が制定した「福岡市公開空地等を活用した賑わいづくり推進要綱」の適用についても、現在市と協議中で、公共空間を上手く活用しながらまちのにぎわいを広げたいと考えています。

これからも当協議会では、博多のまちが将来にわたって活力と風格を持ち続け、住んでよし、働いてよし、訪れてよしという魅力あるまちであり続けるために、駅からまちへ、まちから駅へ、歩いて楽しいまちを目指して活動して参ります。

■このまちづくりレターは、博多まちづくり推進協議会にヒヤリングをさせていただきました内容を基に当財団が編集し、原稿を同協議会事務局長 中嶋 敬介様に監修いただきました。

発行元・問合せ先 公益財団法人都市活力研究所
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーC 7F
TEL 06-6359-1322/FAX 06-6359-1329